

嵐の孤児 (1921)

ORPHANS OF THE STORM

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 125分
初公開日 1923/06
公開情報 劇場公開

【解説】

フランス革命を背景にしたグリフィスの大河ドラマで、ドロシーとリリアンのギッシュ姉妹が、運命に引き裂かれる姉妹同様に育てられた二人の孤児に扮し、涙を絞る。由緒正しい貴族の一家の姫君が平民との子を宿し、哀れ幼子はルイーズと名前の入ったロケットを付けられ、雪の降るノートルダム寺院に捨て置かれる。そこへ我が子アンリエッタを捨てに来たジラルールは、改悛の情に駆られ、その捨て子と共に娘を連れ帰るが、捨て子には困窮した彼らがやり直すには充分すぎるほどの金貨も託されていた。が、ジラルール夫妻は娘たちがちょうど年頃になったころ、病没してしまい、アンリエッタは失明したルイーズを医者に見せようとパリへ向かうが、有名なジゴロの侯爵に見初められて誘拐される。そして独り取り残されたルイーズは、髭を生やした性悪婆さんのフロシャール夫人に捕まり、物乞いのタネにされてしまう……。以下、ルイ16世治下の貴族たちの遊蕩三昧の様子、市民の蜂起、ロベスピエールのギロチン恐怖政治と大モブ・シーンの見どころはたっぷりなのだが、グリフィスが発見したテクニクの一つであるカット・バックの妙味を伝える映画として、アンリエットが彼女を助けた青年騎士ボードレイの部屋で、彼の伯母でルイーズの実母の警視総監リニエール夫人の訪問を受けている折に、物乞いのルイーズの歌声が聞こえて動揺する感動的なくだりを挙げておきたい。まさにフランス人形のように可憐なギッシュ姉妹をとくどご覧じろ。

【クレジット】

監督	D・W・グリフィス	D.W. Griffith
製作	D・W・グリフィス	D.W. Griffith
脚本	D・W・グリフィス	D.W. Griffith
撮影	ヘンドリック・サートフ ポール・アレン ゴットリーブ・ヴィルヘルム・ピッツァー	
出演	リリアン・ギッシュ ジョセフ・シルドクラウト フランク・ロシー ドロシー・ギッシュ モンテ・ブルー	Lillian Gish Joseph Schildkraut Dorothy Gish Monte Blue